

令和4年度 第4回理事会の開催

令和4年度 第4回理事会が令和4年12月15日、日本獣医師会会議室及びインターネットを用いたオンライン出席を併用して開催された。本理事会では、決議事項として、1議案について諮られ、可決された後、説明・報告事項、日本獣医師連盟の活動報告等について、説明・報告が行われた。議事概要は以下のとおりである。

令和4年度 第4回理事会の議事概要

I 日時：令和4年12月15日(木) 14:00～17:30

II 場所：日本獣医師会・大会議室

III 出席者（*はオンラインによる出席者）

【会長】 藏内勇夫

【副会長】 砂原和文、村中志朗、
境 政人（兼専務理事）

【地区理事】 高橋 徹（北海道地区）*

浦山良雄（東北地区）*

鳥海 弘（関東地区）

上野弘道（東京地区）

石黒利治（中部地区）

吉岡 豊（近畿地区）

田中尚秋（中国地区）

佐野明彦（四国地区）

草場治雄（九州地区）

【職域理事】 佐藤れえ子（学術・教育・研究）*

西川治彦（産業動物臨床）

大林清幸（小動物臨床）

横尾 彰（家畜共済）

宮澤 隆（家畜防疫・衛生）

加地祥文（公衆衛生）

佐伯 潤（動物福祉・愛護）

栗本まさ子（特任）

【監事】 宇佐美 晃、小山田富弥、柴山隆史

【顧問】 酒井健夫

IV 議事

【決議事項】

第1号議案 諸規程の制定等に関する件

【説明・報告事項】

- 1 中間監査結果の報告に関する件
- 2 第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会及び第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和4年度）に関する件
- 3 FAVA ワンヘルス福岡オフィスの開設に関する件
- 4 アジア獣医師会連合（FAVA）会長就任祝賀会に関する件

- 5 改正動物愛護管理法における販売用犬猫に対するマイクロチップの装着・登録の義務化に関する件
- 6 飼養豚への豚熱ワクチン接種に関する件
- 7 令和4年度「野口英世アフリカ賞」寄付金に関する件
- 8 役員改選に関する件
- 9 第38回世界獣医師大会（台北）への参加登録に関する件
- 10 獣医療広告制限の見直しに関する件
- 11 特別委員会及び部会委員会に関する件
- 12 職務執行状況に関する件（業務運営概況等を含む）
- 13 その他

【その他の報告・連絡事項】

- 1 当面の主要会議等の開催計画に関する件
- 2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件
- 3 その他

V 会議概要

【開会】

事務局から定款第41条に規定された定足数を満たし、本理事会が成立することが報告され、開会した。

【会長挨拶】

本日は、年末のご多忙の中、令和4年度 第4回理事会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

11月11日から13日まで福岡市で開催されたFAVA大会につきましては約2,500名の参加を得、アジアワンヘルス福岡宣言を採択して終了することができました。開会式には岸田首相からビデオメッセージをいただき、服部福岡県知事、高島福岡市長をはじめ、ご来賓の方々のご挨拶、またガラディナーには麻生太郎自由民主党獣医師問題議員連盟会長、林外務大臣にもご臨席、ご挨拶をいただき開催することができました。本大会の開催運営にご理解、ご協力をいただきました日本獣医師会及び福岡県獣医師会をはじめ、地方獣医師会並びに事務局の皆様方のご協力に、心から感謝申し上げます。

会場あるいは獣医師会会員の皆様方の席次等につきまして、さまざまな制約、問題もあり、皆様方に大変なご

迷惑をおかけしてしまいました。また、皆様方のエリアの会場に対する役員の配慮も欠いておりましたことと大会の最終的な決定をした私からあらためて深くおわび申し上げます。大変失礼いたしました。

私は、11月9日のFAVA代表者会議において会長に選任されました。会長として、毎月一度、ウェブで開催されるFAVA執行部会議に出席し、会務運営について協議を行っております。

また、代表者会議において、FAVAのワンヘルス福岡オフィスを福岡県の協力のもとで設置をすることができる運びとなりました。このオフィスを中心に、日本国内はもちろん、広くアジア、さらには世界にワンヘルスの必要性を発信していきたいと思っております。

また、来年には、世界獣医師大会が4月に台湾の台北で開催され、コロナ感染症禍のために開催が福岡大会の翌年となったFAVA大会がマレーシアのサラワクで開催されます。日本からも多数の獣医師の皆様方に参加いただけるよう、役員の皆様からもお声かけをお願いします。

FAVA大会を終えて国内の課題に目を移しますと、改正動物愛護管理法への対応、愛玩動物看護師法への対応、依然としてさまざまな課題が残されています。全国の地方獣医師会、そして、会員構成獣医師の皆様方に、引き続きご協力をいただき、飼育者の皆様のご理解を得ながら進めていかなければならないと思っております。

特に、改正動物愛護管理法に基づく、販売用犬猫へのマイクロチップの装着・登録に関する事項につきましては、地方獣医師会及び会員構成獣医師の皆様のご心配を払拭できるよう、環境省、厚生労働省をはじめ、関係者の方々と十分に連携を取って、情報を共有しながら、対応してまいりたいと考えており、すでに7月以降、両省と円卓会議を定期的に開催して、協議を進めております。本件につきましては、後刻、現時点での合意事項、推移等について報告させていただきたいと思っております。

本日午前中、宇佐美監事、小山田監事、柴山監事、3人の先生に中間監査を行っていただきました。適正に運営をされ、違法性はないとの評価をいただいたところでございますが、特に定款37条3項にございます理事会の運営について、定款に基づく運営を心がけるようにご指摘をいただきました。これは大変重要なことであると思っております、われわれもしっかり対応させていただきたいと思っております。

本日は本年最後の理事会ですが、課題が山積する中で重要な協議の場となりますので、第8波の襲来といわれ、感染者数が拡大するコロナ禍の中ではありますが、対面開催中心とさせていただきます。理事及び監事の皆様方には忌憚のないご意見をお寄せいただき、本会の適正な運営に資することとしたいと思いますので、何とぞよろしくごお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

【決議事項】

第1号議案 諸規程の制定等に関する件

境副会長兼専務理事から、①本年10月1日に施行された「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」に基づき、従来の日本獣医師会育児休業規程及び日本獣医師会介護休業規程を廃止し、新たな統合規程として日本獣医師会育児休業・介護休業等規程を制定して対応すること、②「日本獣医師会役員選任規程」における会長による推薦管理委員会への専務理事選出区分候補者、特任理事選出区分候補者の推薦手続きの明確化について提案された。出席理事から、特任理事の推薦に関して性別を限定する「会員構成獣医師のうちの女性獣医師を推薦する」旨の規定を削除することが提案され、協議の結果当該記述を削除したうえで両規程を改正することが承認された。

【説明・報告事項】

1 中間監査結果の報告に関する件

幹事を代表して、柴山監事から令和4年度中間監査結果について次のとおり報告された。

「私たち監事は、令和4年4月1日から令和4年9月30日までの令和4年度上半期終了時における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。」

(1) 監査の方法及びその内容

各監事は理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会、その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度上半期に係る事業報告について検討をいたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度上半期に係る計算書類について検討をいたしました。

(2) 監査意見

事業報告等の監査結果：事業報告は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

計算書類の監査結果：計算書類は、法人の財産及び損益の状況を、すべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

監査の附帯意見：事業の運営に関連して、情報共有の重要性を再認識させる幾つかの課題を感じました。理事会の運営について、事前の情報提供と情報共有の徹底を

求めるとともに、機関としての意思決定の透明性を確保するため、特に定款第37条第3項にある、理事会の権限として本会の業務執行の決定をするというを最大限尊重した理事会運営、理事の賛否と意見を議事録に明記することをお願いしたい。

2 第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会及び第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和4年度）に関する件

境副会長兼専務理事から、第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会及び第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和4年度）の開催概要が報告された。

参加人数については、参加登録者数1,893人、うち国内1,774人、海外8カ国119人、招待者を含むと参加者数2,433人、うち国内2,229人、海外18カ国204人、大会2日目のガラディナー参加者数750人であったことが説明された。

ガラディナーについて、参加者750人のうち、292人が参加登録者、458名が招待者または講演者であり、会場が2つに分かれたことから地方獣医師会会員の方々の大半が第2会場で中継画面をみていただくことになったことに対し改めておわびが述べられた。

第40回の獣医学術学会年次大会は、特別企画（シンポジウム等）85演題、一般演題28演題であった旨報告された。また、令和5年12月1日から3日まで、神戸市神戸国際会議場で開催する第41回獣医学術学会年次大会への参加依頼がなされた。

出席者から、第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会及び第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和4年度）について、開催結果を検証のうえ報告書を取りまとめること、大会組織委員会を開催し解散の手続きをとることが提案され、対応することとされた。

第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会及び第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和4年度）の会期中、海外からの賓客対応等、藏内会長のスケジュールがきわめて過密であり、副会長による支援や分担について事前に工夫できた点があったのではないかと、大会参加者への記念品等の配布は確実に行われたか、との質問がなされ、運営上の反省点について教訓として残すこと、記念品等については確認の上不備があれば対応することとされた。

3 FAVA ワンヘルス福岡オフィスの開設に関する件

境副会長兼専務理事から、令和4年11月9日にFAVA会長である藏内会長と服部誠太郎福岡県知事との間で「日本国福岡県福岡市におけるアジア獣医師会連合（FAVA）日本事務所の設立に関する覚書」が締結されたことが報告され、当事務所（福岡事務所）の業務及び

運営体制等が説明された。費用については、公益法人としての日本獣医師会が可能な範囲において適切な支援体制をとることについて説明された。

出席者から、経緯についての説明が不足していること、また福岡県獣医師会との連携協力体制の構築が十分とはいえないこと、福岡事務所の運営主体や具体的な費用負担について理事会での具体的な説明が必要であることについて意見が出され、令和5年度予算の編成に際しては費用の取扱いについて対応するとともに、理事会についてもオンラインによる臨時開催等、フレキシブルな対応の在り方を検討し、十分な説明ができるよう努めることとされた。

4 アジア獣医師会連合（FAVA）会長就任祝賀会に関する件

境副会長兼専務理事から、藏内会長のFAVA会長就任祝賀会を令和5年2月20日に明治記念館で開催されることが説明された。

5 改正動物愛護管理法における販売用犬猫に対するマイクロチップの装着・登録の義務化に関する件

境副会長兼専務理事から、指定登録機関業務及びAIPOの概況が説明された。AIPOの登録減少対策として、AIPO紙登録と法定登録との同時登録のため、複写式登録用紙を準備するとともに、オンラインでも同時登録可能とするシステム整備を進めていることが報告された。獣医師による検索については、現在環境省における省令改正手続きが進められているものの、平時からの検索については引き続き不可能であることから次期法改正に向けて要請を続けていくことが説明された。狂犬病予防法との一体的運用については、運用の混乱を招いていることから環境省、厚労省とともにワーキンググループを設けて検討しているものの、解決には全頭登録の義務化を含む法改正が必要であること等の課題が示され、登録料についても令和4年度の実績を基に改訂を求めることが説明された。抜本的解決策として、現在行われている「環境大臣の登録」を、従来のAIPOを活用した「民間の指定登録機関の登録」に変更することについて環境省、厚生労働省及び本会による円卓会議で引き続き検討することとされており、本会としても要請を続けていくことが説明された。出席者から、紙による同時申請の早期開始が要望され、対応することとされた。

6 飼養豚への豚熱ワクチン接種に関する件

境副会長兼専務理事から、豚熱の発生状況とワクチン接種状況が説明され、ワクチン接種体制について、適時対応を可能とするため家畜防疫員または知事認定獣医師の指示・監督の下、家畜伝染病予防法第12条の3の2

第1項の飼養衛生管理者によるワクチン接種を可能とするよう見直される方向であることが説明された。出席者から、豚熱等家畜伝染病対策検討委員会の早期開催が求められ、対応することとされた。

7 令和4年度「野口英世アフリカ賞」寄付金に関する件

境副会長兼専務理事から、令和4年度「野口英世アフリカ賞」寄付金について、全国の地方獣医師会及び会員構成獣医師から290万7,278円が寄せられ、日本獣医師会からの寄付として209万2,722円を追加した500万円を野口英世アフリカ賞の募金委員会指定口座に送金したことが説明された。

8 役員改選に関する件

境副会長兼専務理事から令和5年6月の総会で予定されている役員改選に向けた諸手続きについて説明された。

9 第38回世界獣医師大会（台北）への参加登録に関する件

境副会長兼専務理事から令和5年4月26日から29日まで台北で開催される第38回世界獣医師大会（台北）について、本会役員の参加が説明されるとともに、全国の会員構成獣医師の参加が呼びかけられた。

10 獣医療広告制限の見直しに関する件

境副会長兼専務理事から令和4年12月13日に獣医事審議会第3回免許部会が開催され、今後の広告制限の見直しに向けて、①獣医師の専門性の認定、②診療費用に関する広告、③診療施設ウェブサイトの取扱いについ

て検討されたこと、本会では認定・専門獣医師協議会を設置して対応を進めていることが説明された。

11 特別委員会及び部会委員会に関する件

マイクロチップ普及推進検討委員会と小動物臨床委員会の合同委員会について鳥海理事、大林理事から説明された。部会委員会について境副会長兼専務理事から概況が説明された後、動物福祉愛護部会について佐伯理事から、産業動物臨床部会について西川理事、横尾理事から、職域総合部会女性活躍推進委員会について栗本理事から説明された。

12 職務執行状況に関する件（業務運営概況等を含む）

境副会長兼専務理事から、令和4年9月1日から11月30日までの状況が説明された。

【その他の報告・連絡事項】

1 当面の主要会議等の開催計画に関する件

境副会長兼専務理事から、当面の関係会議等の開催日程が説明された。

2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

境委員長代行兼会計責任者から、関連会議への出席、要請活動等について説明された。

【閉 会】

藏内会長からすべての議案が終了した旨報告され、円滑な議事進行への協力にお礼が述べられた後、事務局から閉会が告げられた。